

2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年2月10日作成)

小委員会名	地下外壁外防水仕様評価小委員会	主査名：岡本 肇 就任年月：2019年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主査名：興石 直幸
設置期間	2019年4月 ～ 2022年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	2019年春までの地下外壁外防水仕様評価小委員会、日本建築学会として、建築地下外防水のあり方を書籍として刊行し、提示することができた。しかし、評価方法の設定が不十分のままであったため、小委員会を継続し、評価方法を確立することを目的とした活動を行う。 初年度：評価試験方法の検討 土壌暴露試験 2年度：評価試験方法の確立 3年度：評価試験の展開方法の検討 防水シンポジウムで報告	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：岡本 肇 (㈱竹中工務店) 幹事：山中 勇人 (茶谷産業㈱) 委員：田中 享二 (東京工業大学名誉教授)、宍倉 大貴 ((一財)建材試験センター)、森上 恒 (㈱ウォータイト)、亀野 行繁 (㈱イーテック)、前田 悟郎 (ハセガワシート㈱)、佐藤 公仁 (田島ルーフィング㈱)、池上 篤 (日新工業㈱)、東 克洋 (㈱ダイフレックス)、古澤 洋祐 (AGCポリマー建材㈱)、大西 正人 (積水ハウス㈱)、高山 勝行 (㈱フジタ)、山田 人司 (元㈱安藤・間)	
設置WG (WG名：目的)		
2021年度予算	10,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	第11回防水シンポジウム 参加者数 123名 III 地下外壁外防水の防水性評価方法の検討
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 先やり工法の試験評価方法の確立 70% 2. 土壌暴露試験 3年経過
委員会活動の問題点・課題	1. 新型コロナ流行による会議開催減や、リモート会議の制約で、議論が深まらず、目標とした評価法確立までは至らなかった。 2. 土壌暴露試験の暴露後の評価方法の設定が未了である。 これら未了課題の遂行のために、2022.4より3年の新たな小委員会を開始する。